

# 第4次富田林市総合計画

## フォローアップ会議報告書

～ 次の10年に向けて ～

平成28年11月

## 目次

はじめに	・・・ 1
Ⅰ．フォローアップ会議の基本方針	・・・ 2
Ⅱ．総合計画の進捗状況の評価	・・・ 4
Ⅲ．フォローアップ会議の総括について	・・・ 7
おわりに	・・・ 9



## はじめに

多くの市民の参加を得ながら策定され、平成 19 年度からスタートした第 4 次総合計画も、いよいよ最終年次を迎えました。

フォローアップ会議は、総合計画に明記された「さまざまな施策は、基本計画に沿って実施されていく必要があり、これらの実施状況を調査、検証、評価するための会議などを設置し、基本計画をフォローアップします。」との趣旨をうけ、平成 21 年度に設置されて以降、基本計画検証会議が開催された平成 23 年度を除き、毎年度開催され、活発な議論を重ねてきました。

今年度も、これまでに引き続き、市長から第 4 次総合計画の実施状況を調査・確認・評価し、その結果を報告するように求められたことを受けて、フォローアップ会議が開催されましたが、基本計画の着実な進捗に向けて、フォローアップ会議の取り組みを継続的に実施されてきたことに、敬意を表します。

今年度のフォローアップ会議では、これまでのフォローアップ会議や基本計画検証会議での取り組みの経過を踏まえながら、第 4 次総合計画が最終年次であること、新たな総合ビジョンの策定に向けた取り組みが開催されていることも踏まえ、“総合計画の進捗状況の評価”に加え、“フォローアップ会議の総括”をテーマに議論を行いましたので、その要旨をご報告します。

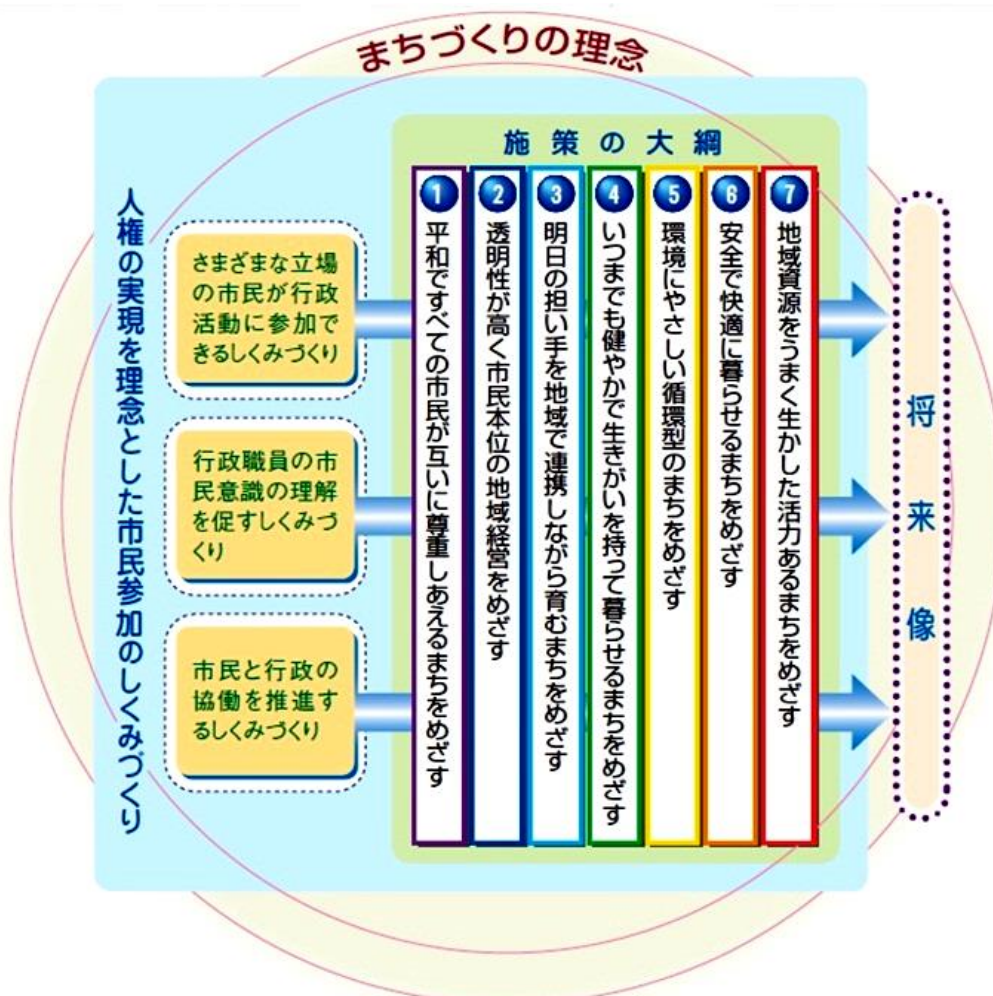
# I. フォローアップ会議の基本方針

## 1. 基本方針の確認

これまでの総合計画は、個別の行政課題中心の言わば「縦糸」中心の計画でした。

しかし、第4次総合計画では、市政始まって以来初めて、基本計画の第1章に「人権の実現を理念とした市民参加のしくみづくり」として、次のようなことを目標とした“3つのしくみづくり”を求めています。そして同時に、この“3つのしくみづくり”を「横糸」として、個別の行政課題という「縦糸」の中に織り込むことを求めています。

- さまざまな立場の市民が行政活動に参加できるしくみづくり  
市民がさまざまな形で行政参加していくことで市民自身が育っていく
- 行政職員の市民意識の理解を促すしくみづくり  
行政職員が市民活動に参加することで市民意識を育てていく
- 市民と行政の協働を推進するしくみづくり  
共に育った市民と行政職員が対等な立場で協働してまちづくりに知恵と汗をかく



## 2. 今年度会議のあり方

これまでのフォローアップ会議では、総合計画にうたわれた「横糸」の反映に関する検証を重視することによる市民協働・市民参加の推進に向けた「しくみづくり」や、総合計画を中心としたPDCAサイクルの活用を行うための「しかけづくり」を目的に、「フォローアップ会議の組織化」、「検証のための資料の整備」、「職員の合意、周知、理解を進める方策」などについての提案を行い、総合計画の実施状況の確認と評価を進めてきました。

今年度は、これまでのフォローアップ会議・基本計画検証会議での評価を踏まえつつ、また、第4次総合計画が最終年次を迎えていることも踏まえ、“基本計画全体の進捗状況の評価”と“新たな総合ビジョンに継承すべき事項”の2つに視点をおき、取り組み状況の点検と評価を行うとともに、フォローアップ会議の総括を行いました。

## Ⅱ. 総合計画の進捗状況の評価

総合計画に基づくまちづくりは、基本構想に示す目指すべき将来像の実現に向けて、基本計画第1章で示す“3つのしくみづくり”としての「横糸」を、基本計画第2章で示す“7つの施策大綱”としての「縦糸」に織り込みながら進めることとされています。

総合計画の進捗状況の評価するためには、「横糸」と「縦糸」について、それぞれの取り組み状況を確認することが必要であることから、基本計画第1章と第2章、それぞれについて、その取り組み状況の点検を行いました。

### 1. 基本計画第1章について

基本計画第1章では、「人権の実現を理念とした市民参加のしくみづくり」の実現に向けて、「さまざまな市民の人権が実現され、市民の主体的なまちづくり活動を活性化するとともに、市民参加や協働のまちづくりを推進するための多様なしくみを整えます。」という方向性が示されています。

これまでのフォローアップ会議では、基本計画第1章の進捗状況の評価のため、基本計画の内容に沿って経年的にデータを蓄積・整備している「フォローアップシート①」により点検を行ってきましたが、今年度は、平成26年度に引き続き政策推進課が整理した「第4次富田林市総合計画取組状況の総括について（案）」も活用し、「横糸」の「縦糸」への織り込み度合いも含めて、基本計画全体での進捗状況の点検を行いました。

#### 【取り組み状況】

第4次総合計画の計画期間中の取り組みを“見える化”する形で整備を進めている「フォローアップシート①」を点検すると、毎年少しずつではありますが、市民参加のしくみづくりに向けた新たな取り組みが増加しています。また、この間フォローアップ会議において、未着手の項目として指摘を行ってきた「市民ワークショップの有効性や問題点の検討・見直し」についても、新たな総合ビジョンの策定過程で検討・実施が行われるなどの対応が図られています。

さらに「第4次富田林市総合計画取組状況の総括について（案）」により、「横糸」の「縦糸」への織り込みの状況を点検すると、市民参加のしくみづくりに向けて、取り組みが可能な事業の殆どで、取り組みが行われていることが確認できますが、全体的に十分な取り組みとなっているとは言えません。

#### 【評価と課題】

フォローアップ会議において、これまで蓄積・整備を進めてきた資料を見る限り、基本計画第1章の取り組みは、第4次総合計画の10年間で、基本計画の内容に沿って順調に進展してきたものと言えますが、計画が求める「横糸」の「縦糸」への織り込みの部分で見ると、計画全体で織り込みがなされているものの、織り込みの質の部分では、全体的にさらなる取り組みの余地があるものと言えます。

策定当時、先進的な理念として第4次総合計画の「横糸」に位置付けた「人権の実現を理念とした市民参加のしくみづくり」は、地方分権の進展や現在の社会経済情勢等を鑑みても、今なお時代が希求する重要な考え方であると言えます。

次の10年間においては、こうした市民参加のしくみづくりに向けた考え方を、これまでの経験や蓄積を踏まえながら発展的に継承し、新たな取り組みによる「横糸」と「縦糸」の“結び目づくり”を促すことはもちろんのこと、取り組みをさらに深めていくことにより「横糸」と「縦糸」の“結び目”を育て、織り込みの質を高めていくことが必要と考えられます。

## 2. 基本計画第2章について

基本計画第2章では、基本構想に掲げる“7つの施策大綱”を推進するために必要な、分野別の方向性が示されています。

これまでのフォローアップ会議では、基本計画第2章の進捗を評価するためには、“7つの施策大綱”の推進に向けて実施される各事務事業が、適切な成果指標を設定しながら、基本計画の方向性に沿って進められていることを確認する必要があるという考え方のもと、基本計画第2章各節各項の事業の「事務事業評価表」や「フォローアップシート②」などを用いた点検を行ってきました。

今年度のフォローアップ会議では「事務事業評価表」の資料を用いた点検に加え、平成26年度に引き続き政策推進課が整理した「第4次富田林市総合計画取組状況の総括について（案）」も活用し、章全体について包括的な点検を行いました。

### 【取り組み状況】

事務事業評価表を点検すると、計画全体への浸透や市民目線での記載という点では、未だ不十分な点も見受けられますが、これまでのフォローアップ会議で指摘・提言を行ってきた事項への対応も含めて、全体的な記載内容の充実やPDCAの活用など、取り組みの安定化・定着化が図られています。

また「第4次富田林市総合計画取組状況の総括について（案）」により、各施策の取り組み状況、今後の重要度、今後の方向性を点検すると、基本計画全体で実施された大半の事業が継続して実施すべきと評価されており、また半数以上の事業が今後の重要度が高いと評価されていたほか、取り組み事業数や、今後の重要度が高い事業数には施策間で大きな差が見受けられました。

### 【評価と課題】

これまでのフォローアップ会議としての評価の考え方にもあったとおり、基本計画第2章で示す“7つの施策大綱”を推進するためには、分野別に展開される各事務事業が、適切な成果指標を設定し、事務事業評価に取り組みながら進められる必要があります。

基本計画第2章の進捗状況については、これまで点検などのために蓄積・整備を進めてきた資料の性質上、個別の施策・事務事業にまで踏み込んだ評価を行うことは困難と言えますが、点検を行った資料を見る限り、成果指標の設定をはじめとする事務事業評

価の取り組みは、着実に定着してきている印象を受け、そういった点から見ても、基本計画第 2 章で示す“7 つの施策大綱”の推進に向けた各分野の取り組みは、順調に進展してきたと言えます。

また、行政事務がその性質上、住民生活に直結していることから、各事務事業の今後の重要度、今後の方向性に対する自己評価は、継続性の高さが目立つ結果となりましたが、こうした総合計画全体を見据えた取り組みが、フォローアップ会議の議論を経て自発的に行われたことは一定の評価ができるものと考えます。

人口減少や少子高齢化のさらなる進行が問題となっている中、これまで以上に PDCA サイクルに基づく効果的な事務事業の実施が求められます。

次の 10 年間においては、事業の目的・方向性の明確化に向けた成果指標のブラッシュアップや、結果に基づく改善のプロセスの構築など、PDCA サイクルに基づく効果的な事務事業の推進を、限られた財源の中で、コスト優先による弊害も意識しながら、全庁的に取り組んでいくことが重要と考えます。



### Ⅲ. フォローアップ会議の総括について

今年度が第4次総合計画の最終年次であること、次年度以降の長期的なまちづくりの指針として「新たな総合ビジョン」の策定に向けた取り組みが進められていることを踏まえ、これまでの議論を振り返りながら、フォローアップ会議の総括として、「新たな総合ビジョン」に継承すべきと考える事項を整理しました。

#### 1. フォローアップの場の必要性について

フォローアップ会議は、「はじめに」でも触れたように、第4次総合計画に明記された方針に基づき設置され、市民参加によるPDCAサイクルに基づき、基本計画の進捗状況の点検・評価を行ってきました。

フォローアップ会議では、市民の視点に基づく進捗状況の点検・評価に加え、会議のあり方や、評価のあり方、フォローアップ結果のフィードバックのあり方などについての議論を重ねてきましたが、こうした議論の過程では、市民・職員の双方の新たな気付きも生まれ、こうした取り組みを継続できたことは、単なるPDCAサイクルの一環としてのチェック機能を果たしたということだけではなく、市民参加のしくみづくりを促進するという観点においても、大きな意義があったものと考えます。

また、一般的にPDCAサイクルを円滑に進めていく上では、計画(P:Plan)や実行(D:Do)の主体以外の第3者的な立場からの評価(C:Check)が重要との考えもあり、こうした点においてもフォローアップ会議としての取り組みは有効であったと言えます。

「新たな総合ビジョン」においても、PDCAサイクルに基づく計画の進捗管理に取り組まれることと思いますが、これまでの経験を踏まえた、フォローアップの場が必要になるものと考えます。

#### 2. 主体的な市民参加の必要性について

第4次総合計画では、「人権の実現を理念とした市民参加のしくみづくり」を、計画全体を推進していく上での基本的な考え方とし、これまでさまざまな取り組みが進められてきましたが、「Ⅱ. 総合計画の進捗状況の評価」でも触れたように、地方分権の進展や現在の社会経済情勢等を鑑みても、こうした市民参加のしくみづくりに向けた考え方を、これまでの経験や蓄積を踏まえながら、「新たな総合ビジョン」へ発展的に継承していくことが必要です。

市民参加や協働によるまちづくりをさらに推進していくためには、市民自身が地域のまちづくりの担い手として不可欠な存在となっていることを認識するために、“市民が育つ”という観点のもと、参加や協働を促す環境づくりに加えて、新たな気付きと発想の転換を促す取り組みを推進していくことが重要となります。

「新たな総合ビジョン」においては、第4次総合計画の基本的な考え方を、これまでの経験も踏まえながら発展的に継承し、まちづくりの担い手としての主体的な市民参加の促進に向けて、地域人材の発掘や育成という点も含めて、新たな取り組みはもちろん

のこと、これまでの取り組みをさらに深めていくことも必要と考えます。

### 3. さまざまな資料の整備と情報公開の必要性について

これまでのフォローアップ会議においては、市民の視点に基づく議論を通じて、フォローアップシートをはじめとするさまざまな資料を整備することができました。

こうした資料の蓄積は、総合計画の進捗状況を点検・評価するための重要な資料となるだけでなく、市民や職員がその情報を有効活用することで、新たな気付きと発想の転換を促すことにも繋がるものと考えます。

「新たな総合ビジョン」においても、フォローアップの場での活用や主体的な市民参加を促進するためのツールとして、引き続き内容の精査を行いながら資料の整備を進めるとともに、その情報を市民や職員が有効活用できるための、分かりやすい情報公開を含めたフィードバックのしくみづくりを推進していくことが必要と考えます。

## おわりに

### ～次の10年に向けて～

本年度のフォローアップ会議では、総合計画の進捗状況の評価を、継続性を重視する観点から昨年度までと同様に行うとともに、第4次総合計画が最終年次を迎えたことから、フォローアップ会議自体の総括を行い、新たな総合ビジョンに継承して頂きたい事項を取り纏めるべく、活発な議論が行われました。

フォローアップ会議委員はその全員が、24回、1年9ヶ月に及ぶ、異例とも言える総合計画審議会の際に委員として主体的に参加した者であり、長期にわたる議論の果実として作られた、策定当時としては斬新と言える第4次総合計画に誇りを持つとともに、その内容が実効性を持って行政運営に活かされることを期待し、進捗状況の評価に加えて、評価方法自体についても多くの提案を行わせて頂きました。

例えば、初の開催となった平成21年度には、「評価のあり方」から議論を始め、その成果として「フォローアップシート」等の有効な資料が継続的に作成され、資料の蓄積や見える化を進めることができました。その後は、こうした情報を全庁的に活用してもらい、「発想の転換」を良しとする職場風土の醸成につながるよう、「フィードバックのしくみ」の提案に注力しました。この間、「事務事業評価集計表」や「事務事業の施策別分類」といったさらなる評価用資料の追加もなされています。そして、平成26～27年度においては、担当課との意見交換の場を持つことが出来ました。ここでは、それぞれの事務事業の実施過程において、地域社会を形成する多様な主体との関わりが日常的に存在し、日々市民と行政の間で対話が行われていることが確認され、このことが第4次総合計画で掲げられた市民参加の実践に他ならないことも確認できました。

こうしたフォローアップ会議としての取り組みをふまえ、第4次総合計画の進捗に関して言えば、さらなる検討と改善の余地はあるものの、基本計画に示す“3つのしくみづくり”と“7つの施策大綱”は概ね順調に進展し、前者を「横糸」、後者を「縦糸」と表現するならば、その“結び目”を育てる努力がなされていると評価することができます。また、そのために不可欠なPDCAサイクルの枢要な部分である、事務事業評価の取り組みも、着実に定着してきていると考えます。なお、平成23年度に行われた「基本計画検証会議」においても、時代潮流の変化による大きなずれが生じていないかを検証した結果、その方向性について大きな逸脱がないことが確認されていることも申し添えます。

さて、第4次総合計画の答申には、計画書に記載できなかった事柄について「本基本計画推進にあたり行政に期待すること」として、①市民自治の必要性、②選択と集中の必要性、③安定した地域経営、④総合的視野の必要性、⑤職務の目的意識、⑥現場からの発案、の6項目を、特に記しました。今、振り返ってみると、フォローアップ会議の

議論や提案はこれらの項目に沿ったものであり、ここで書かれた具体的内容の実現に向けての取り組みであったとすることができます。また、これらの取り組みは、事務局をはじめとした職員の皆さまの積極的なご協力の賜物であり、我々委員一同、感謝の意を表したいと思えます。

新たな総合ビジョンにおいても、第4次総合計画で謳われた市民参加を基本としたまちづくりの方向性を発展的に継承し、また「Ⅲ. フォローアップ会議の総括について」において詳述した「フォローアップの場の必要性」「主体的な市民参加の必要性」「さまざまな資料の整備と情報公開の必要性」の3つの項目に留意して頂くことを期待するとともに、富田林市が今後もますます発展していくことを祈念いたします。

平成28年11月2日

富田林市総合計画フォローアップ会議

座長	吉川	耕司
	大西	美苗
	前川	仁三夫
	湯口	香津子

平成 28 年度フォローアップ会議委員一覧 (順不同)

氏名	所属等※	備考
大西 美苗	富田林市婦人団体連絡協議会会長	
前川 仁三夫	市民懇談会副会長	職務代理
湯口 香津子	東公民館クラブ連絡会会長	
吉川 耕司	大阪産業大学教授	座長

※所属等については、第 4 次総合計画 P.153「総合計画審議会委員」より転記

平成 28 年度会議の開催日

第 1 回	平成 28 年 9 月 12 日
第 2 回	平成 28 年 10 月 5 日
第 3 回	平成 28 年 10 月 6 日
第 4 回	平成 28 年 11 月 2 日

## 平成 28 年度フォローアップ会議資料一覧

第 1 回	平成 28 年度総合計画フォローアップ会議委員名簿
	富田林市総合計画フォローアップ会議設置要綱
	会議の公開に関する指針
	フォローアップシート①
	フォローアップシート②
	各種数値データ一覧表
	平成 27 年度市民アンケート（重要度・満足度）
	市民アンケート調査結果ランキング
	平成 27 年度事務事業評価集計表
	平成 27 年度事務事業の施策別分類
	第 4 次総合計画第 9 期実施計画
	平成 21 年度フォローアップ会議報告書
	平成 22 年度フォローアップ会議報告書
	平成 24 年度フォローアップ会議報告書
	平成 25 年度フォローアップ会議報告書
	平成 26 年度フォローアップ会議報告書
	平成 27 年度フォローアップ会議報告書
	第 4 次総合計画基本計画検証会議報告書
	事務事業評価表（18 事業分）
	第 4 次富田林市総合計画取組状況の総括について（案）

